

第1回

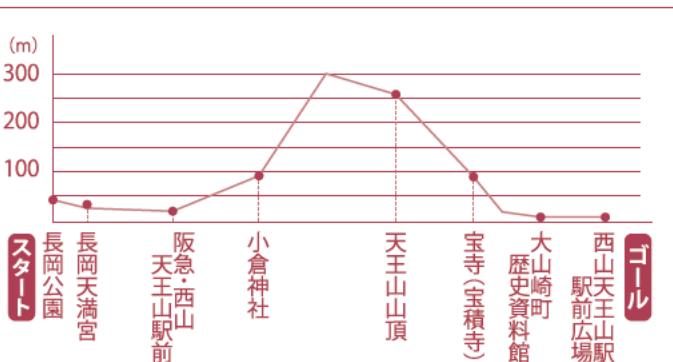
2014年4月20日(日)

阪急  
HANKYU

# 天下分け目の天王山を制す 長岡天満宮から 山崎合戦の地・天王山へ

コース案内

10分 すぐ  
 阪急京都線・長岡天神駅 ⇒ 長岡公園【受付・スタート】 ⇒ 長岡天満  
 宮 ⇒ 阪急・西山天王山駅前 ⇒ 小倉神社 ⇒ 天王山山頂 (▲270.4m)  
 ⇒ 酒解神社 ⇒ 旗立松・展望台 ⇒ 宝寺(宝積寺) ⇒ 離宮八幡宮 ⇒ 大  
 山崎町歴史資料館 ⇒ 西山天王山駅 駅前広場【ゴール】 約12km



## 【参加条件】

- ①健康状態のすぐれない方は参加をご遠慮ください。ご自分の体力、体調をチェックされた上でご参加ください。ただし、子ども（小学生以下）と75歳以上の方の単独参加はご遠慮ください。
- ②参加者のけがや他に与えた損害等については、主催者は一切の責任を負いません。

ゴールにて、本日参加者の中から「ワールドマーチウォーキングシーブ」が当たる抽選を実施いたします。  
 (ただし、健康生活サポートセンター大阪駅前店・神戸三宮店に引き換えに行ける方に限ります。)  
 (このコースマップ右上の番号が抽選番号になりますので、最後までお持ちください。)

も子さまプレゼント  
小学生以下  
頑張って歩いてくれた  
お子さまにゴールで素敵な  
プレゼントが待っているよ!!  
数に限りがあります。  
プレゼントの中味が同じでない場合が  
ありますのでご了承ください。

ご注意!  
このマップはウォーキング当日に配布したもので、プレゼントや割引などの特典はご利用になれません。開催後、コース状況や施設情報が変更になっている場合があります。ウォーキング中の怪我や事故については責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 【注意事項】

- 緑を守り育てましょう！交通ルールを守り車両等に十分注意してください。
- ゴミや空き缶は必ず持ち帰りましょう！タバコの火の後始末を確実に！
- 受動喫煙を防止するため「歩行中の禁煙」にご協力ください。

次回予告  
第2回

5月4日(日・祝) 近鉄

[雨天決行。荒天の場合、7月6日(日)に延期]

-近鉄奈良線100周年記念-  
茶筌(ちゃせん)の里 高山から新緑の大和文華館へ

近鉄けいはんな線・学研北生駒駅【受付・スタート】 - 奈良交通北大和営業所 - [バス] - 高山竹林園 - 長弓寺 - 大渕池公園 - 菖蒲池 - 菖蒲池神社 - 大和文華館【ゴール】 - 近鉄奈良線・学園前駅 約14km

\*奈良交通北大和営業所から高山竹林公園までのバス代は別途必要です。

集合場所 近鉄けいはんな線・学研北生駒駅

受付時間 午前9時30分～10時30分

集合に便利な電車

■大阪難波駅 8:50～9:42 発近鉄奈良行快速急行  
(生駒駅で学研奈良登美ヶ丘行にのりかえ)

お問い合わせ先

近鉄大阪ハイキング係

(06)6775-3566 (9:10～18:00 土・日・祝休日・5/1を除く)

雨天決行。荒天の場合は、7月6日(日)に延期

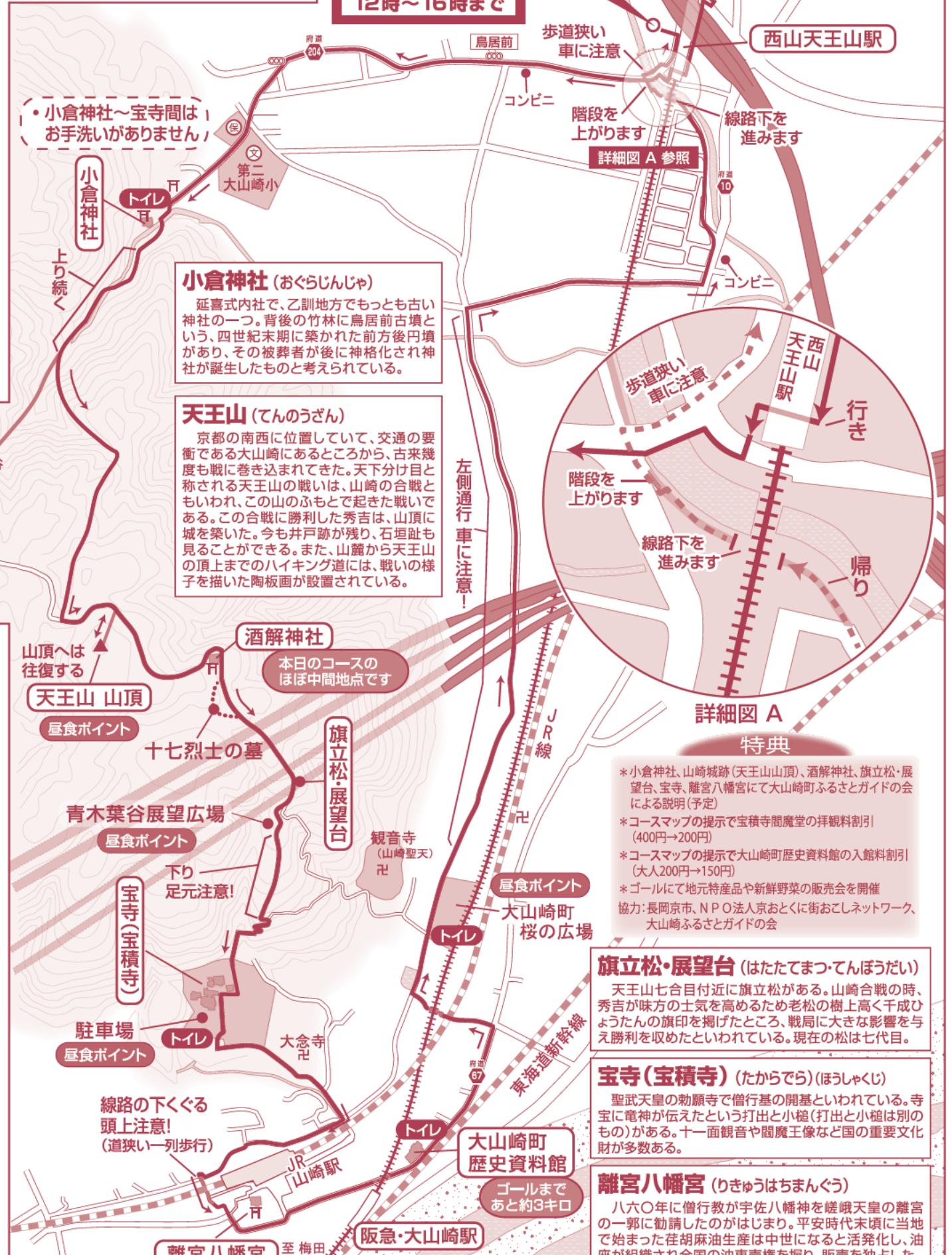


スタート  
長岡公園

長岡天満宮  
菅原道真が太宰府に左遷される時に名残を惜しむために訪れた地といわれ、道真を祭神として奉っている。境内の東隣には八条ヶ池があり毎年四月下旬には濃紅色のキリシマツツジが咲き誇る。

ゴール  
西山天王山駅  
駅前広場  
ゴール受付・  
地元特産品の販売会  
12時～16時まで

・天王山(アップダウン)をショートカットしたい方は、西山天王山駅～大山崎駅間を電車移動して下さい。(運賃:150円)



\*小倉神社、山崎城跡(天王山山頂)、酒解神社、旗立松・展望台、宝寺(宝積寺)にて大山崎町ふるさとガイドの会による説明(予定)

\*コースマップの提示で宝積寺間魔堂の拝観料割引(400円→200円)

\*コースマップの提示で大山崎町歴史資料館の入館料割引(大人200円→150円)

\*ゴールにて地元特産品や新鮮野菜の販売会を開催

協力:長岡京市、NPO法人京おとくに街おこしネットワーク、大山崎ふるさとガイドの会

旗立松・展望台(はたたてまつ・てんぼうだい)

天王山七合目付近に旗立松がある。山崎合戦の時、秀吉が味方の士気を高めるため老松の樹上高く千成ひょうたんの旗印を掲げたところ、戦局に大きな影響を与えたといわれている。現在の松は七代目。

宝寺(宝積寺)(たからでら)(ほうしゃくじ)

聖武天皇の勅願寺で僧行基の開基といわれている。寺宝に竜神が伝えたという打出と小槌(打出と小槌は別のもの)がある。十一面觀音や閻魔王像など国的重要文化財が多数ある。

離宮八幡宮(りきゅうはちまんぐう)

八六〇年に僧行教が宇佐八幡神を嵯峨天皇の離宮の一郭に勧請したのがはじまり。平安時代末頃に当地で始まった荏胡麻油生産は中世になると活発化し、油座が組織され全国の油専売権を握り、販売を独占した。